

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成28年 1月22日

協議会名:	藤沢市地域公共交通会議
評価対象事業名:	バリアフリー化設備等整備事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	今後も高齢化が進むと考えられるため、病院や福祉施設周辺の道路、駅施設などの公益施設におけるユニバーサル化、交通安全対策の推進と併せて、公共交通車両のバリアフリー化を進めることが重要と考えられます。このことから、施設のバリアフリー化と併せ、バス事業者と連携したノンステップバス導入の促進及びタクシー事業者と連携したUDタクシー導入の促進を行います。

協議会名・補助対象事業者名

藤沢市地域公共交通会議
 路線バス事業者 2社
 タクシー事業者 3社

事業内容

ノンステップバスの導入、UDタクシーの導入

経緯

設備の現況

藤沢市交通マスタープランにより、ノンステップバス、UDタクシーの導入を促進
 ノンステップバス・リフト付きバスの導入率は19%(H25年度末現在)
 UDタクシーの導入台数は、3両(H25年度末現在)

目的・必要性

今後も高齢化が進むと考えられるため、病院や福祉施設周辺の道路、駅施設などの公益施設におけるユニバーサル化、交通安全対策の推進と併せて、公共交通車両のバリアフリー化を進めることが重要と考えられます。このことから、施設のバリアフリー化と併せ、バス事業者と連携したノンステップバス及びタクシー事業者と連携したUDタクシーの導入を促進します。

目標・効果

【ノンステップバス】[目標]平成25年度時点、藤沢市域では、70両のノンステップバス車両が運行され、バリアフリー(ノンステップバス、リフト付バス)車両の導入割合は19%となっている。移動円滑化の全国的な目標では、平成32年までに約70%のノンステップバス車両の導入を目指していることから、バス事業者の車両更新台数にあわせて、藤沢市域内のノンステップバス車両の導入率を現在より10%程度向上させる。
 [効果]ノンステップバス車両を増加させることで、バスの乗車がこれまで難しかった車イス等の利用者等の利用者増加が見込まれる。
 【UDタクシー】[目標]平成25年度時点、藤沢市域では、2台のUDタクシー車両が導入されている。移動円滑化の全国的な目標では、平成32年までに約2万8千台の福祉タクシー車両の導入を目指していることから、藤沢市域内のUDタクシー車両を平成32年までに人口割合換算で、90台程度まで増加させる。
 [効果]UDタクシー車両を増加させることで、従来タクシー車両での外出が困難となっていた車イス利用者等の利用が見込まれるとともに、誰にでも利用しやすい車両の増加は、高齢者や障がい者の外出機会を増やす効果が期待される。

事業の概要

ノンステップバス 3両導入
 神奈川中央交通(株) :大型(車長10.51m)1両
 江ノ島電鉄(株) :小型(車長7m未満)2両

UDタクシー 4両導入
 株式会社ミナミ商会 :2両
 神奈中ハイヤ-(株)藤沢営業所) :1両
 江ノ島タクシー(株) :1両

協議会構成員

- ・神奈川県県土整備局 都市部交通企画課・藤沢市計画建築部
- ・(社)神奈川県タクシー協会相模支部藤沢地区会
- ・神奈川中央交通株式会社・江ノ島電鉄株式会社
- ・神奈川県警察本部 交通部交通規制課 都市交通対策室・藤沢警察署・藤沢北警察署・神奈川県交通運輸産業労働組合協議会
- ・関東運輸局神奈川運輸支局・市民・東洋大学教授
- ・郷土づくり推進会議